明光電子

スマートアナログIC核に

センサー搭載機器向け システム提案に力

明光電子は、約30万点の半導体・電子部品を取り扱い、少量多品種生産中心の産業機器関連メーカーを中心にビジネスを展開している。国内産業機器市場でニーズの高まる「センサー関連システム」「環境関連システム」などに向けたビジネスを拡大させている。

十川　社長

同社は、顧客志向型商社を掲げ、細かなサポートの提供を通じ、産業機器市場を中心に多くの顧客を持つ。同社の強みの一つが「調達力」だ。創業以来「トップメーカーの半導体、電子部品を扱う」（十川正明社長）の方針の下、積極的に取り扱い商材を拡充。現在、約30万点にも及ぶ半導体、電子部品を扱える調達網を確立している。

調達力を生かしたサービスとして、少量多品種生産メーカーの課題でもある「購買・在庫管理」を代行して行うサービスも提供している。現在、5社以上の顧客から委託されるなど、高い信頼を得ている。「当社の購買・在庫管理代行は、顧客の現状把握など時間をかけて調査、検討し実施するもの。少量多品種の生産の場合、部材管理はとても非効率で煩雑なため、大幅な効率化、コストダウンが実現できるサービスとして評価されている」という。

豊富な商材を生かした各種システム提案にも重点を置いており、現在、ルネサスエレクトロニクス製デバイス「スマートアナログIC」を核にしたセンサー搭載機器向けのシステム提案に注力している。

提案を強化しているスマートアナログ体験ツール「スマートアナログスティック」

「スマートアナログIC」は、ソフトウエアで回路構成を変更できるプログラマブルアナログIC。センサーからの信号をマイコンなどで読み取れるよう増幅、ノイズ除去するなどのアナログ回路部を1チップで実現。回路構成を変更できるため、一つのICで多数のセンサー用アナログ回路を構成できる。

明光電子では、この「スマートアナログIC」の扱いを強化し、マイコンや幅広く取りそろえるセンサー製品とともに提案を実施。スマートアナログの評価・開発ボード・ツールの提供・体制の強化も行い認知拡大を図っていく。

需要拡大の続く環境・エネルギー分野でのビジネスも拡大する。ロームグループ製品を中心に扱うLED照明ビジネスや、パワーコンディショナや自動車、自転車、家庭用蓄電池の充電システムなどでも採用数を伸ばす。「特に、電気自動車関連向けではビジネスチャンスが多く、重点を置いて事業を進めていきたい」としている。